

追加 IP アドレス設定手順書

Coyote Equalizer



目次

1.	利用可能な追加 IP アドレスの形態について.....	3
2.	ベンダの保守サポートについて.....	3
3.	Coyote Equalizer の追加 IP アドレス設定方法	4
3.1.	ファームウェア 8.6.x までの設定方法.....	4
3.2.	ファームウェア 10.2.x 以降の設定方法.....	7
4.	サーバの追加 IP アドレス設定方法.....	9

- 本書は専用サーバ Platform Ad / 専用サーバ Platform St にて提供している Coyote Equalizer に追加 IP アドレスを設定する方法について説明いたしております。
- 本書内の設定には、実行時に十分な注意が必要とされるものも含まれています。特に実運用環境下でのオペレーションの際には、必ず注意事項に従って作業を行うようにして下さい。
- 注意事項に記載があるにもかかわらず、誤った設定を行ってしまったことによりシステムに深刻な打撃を与えてしまった場合、弊社はその責任を負いかねますのでご注意ください。
- 本書に記載されている内容は予告なく変更される可能性がありますので予めご了承ください。

改定履歴

作成・改訂番号	作成・改訂年月日	作成・改訂内容
001	2011 年 2 月 16 日	初版作成
002	2014 年 7 月 29 日	ファーム 10.2.x 以降に対応
003	2014 年 10 月 22 日	ファーム 10.2.x 以降の設定方法を修正

1. 利用可能な追加 IP アドレスの形態について

DSR (Direct Server Return) 構成におきましては、ロードバランサ機器およびサーバ機器の IP アドレスは同一のネットワークセグメントに設定する必要があります。ホスト型の追加 IP アドレスでは同一のネットワークセグメントに設定することはできないため、バランシング設定は不可となります。

DSR 構成とあわせて追加 IP アドレスを利用される際は、ネットワーク型で設定いただくようお願いいたします。

2. ベンダの保守サポートについて

Coyote Equalizer に対する追加 IP アドレスの追加設定は通常、ベンダでのサポートはいたしておりません。弊社では可能な限りサポートを行います。トラブルが発生した場合にはベンダへのエスカレーションが難しくなります。このため、特別な理由がある場合にのみご利用いただくことを推奨いたします。

3. Coyote Equalizer の追加 IP アドレス設定方法

Coyote Equalizer に対して追加 IP の設定を行います。

3.1. ファームウェア 8.6.x までの設定方法

SSH クライアントソフトより Coyote Equalizer に SSH にてログインします。ログインは「eqsupport」アカウントにて行ってください。

```
Last login: Thu Feb 10 18:20:26 2011 from 198.51.100.100
Copyright (c) 1980, 1983, 1986, 1988, 1990, 1991, 1993, 1994
    The Regents of the University of California. All rights reserved.

Equalizer (TM) by Coyote Point Systems Inc.
(c) 1998-2009 All Rights Reserved.

Coyote Point Systems Inc.
675 North First Street
Suite 975
San Jose, CA 95112

www.coyotepoint.com

Based on FreeBSD
eqsupport@equalizer$
```

ログイン後、su コマンドにて root 権限に切り替えます。

```
eqsupport@equalizer$ su
root@equalizer#
```

設定ファイルを編集することができるよう、mount コマンドにて書き込み可能に切り替えます。

```
root@equalizer# mount -w /
```

設定ファイルの編集を行うため、vi エディタにてファイルを開きます。

```
root@equalizer# vi /var/etc/rc.conf-eq
```

```
xntpd_enable=' YES'
xntpd_flags=' -g -p /var/run/ntpd.pid -f /var/etc/ntp.drift'
defaultrouter=' 198.51.100.1'
sourced_files=' :/etc/rc.conf::/etc/rc.conf.local:'
ifconfig_em1=' inet netmask 255.255.255.0 '
ifconfig_em0=' inet 198.51.100.10 netmask 255.255.255.0 '
```

ファイル最末尾に Coyote Equalizer に割り当てる追加 IP アドレスを設定します。

```
xntpd_enable=' YES'
xntpd_flags=' -g -p /var/run/ntpd.pid -f /var/etc/ntp.drift'
defaultrouter=' 198.51.100.1'
sourced_files=' :/etc/rc.conf::/etc/rc.conf.local:'
ifconfig_em1=' inet netmask 255.255.255.0 '
ifconfig_em0=' inet 198.51.100.10 netmask 255.255.255.0 '
ifconfig_em0_alias0=' inet 203.0.113.20 netmask 255.255.255.0 '
```

設定例

```
ifconfig_em0_alias0=' inet 203.0.113.20 netmask 255.255.255.0 '
```

インタフェース名/番号 追加 IP アドレス

ネットマスク

項目	設定内容
インタフェース名/番号	equalizer が利用するネットワークインタフェースとなります。 基本 IP アドレスが設定されている行と同じインタフェース名を指定します。
追加 IP アドレス	機器に割り当てる追加 IP アドレスを設定します。
ネットマスク	追加 IP アドレスのネットマスクを設定します。

「:wq (記号のコロン、小文字ダブルユー、小文字キュー)」を入力しリターンキーを押して、ファイルを保存後 vi エディタを終了します。

```
xntpd_enable=' YES'
xntpd_flags=' -g -p /var/run/ntp.pid -f /var/etc/ntp.drift'
defaultrouter=' 198.51.100.1'
sourced_files=' :/etc/rc.conf:/etc/rc.conf.local:'
ifconfig_em1=' inet netmask 255.255.255.0 '
ifconfig_em0=' inet 198.51.100.10 netmask 255.255.255.0 '
ifconfig_em0_alias0=' inet 203.0.113.20 netmask 255.255.255.0
~
:wq
```

※vi エディタを使わないで設定する場合は、echo コマンドにて追加を行ってください (実際には改行せず、1 行となります)。

```
root@equalizer# echo ifconfig_em0_alias0=' inet 203.0.113.20 netmask 255.255.255.0 ¥'
>> /var/etc/rc.conf-eq
```

reboot コマンドにて Coyote Equalizer を再起動させ、設定を反映させます。

```
root@equalizer# reboot
```

3.2. ファームウェア 10.2.x 以降の設定方法

SSH クライアントソフトより Coyote Equalizer に SSH にてログインします。アクセスは「eqadmin」を指定し、ログインは「touch」アカウントにて行ってください。

```
$ ssh eqadmin@[Coyote 本体 IP]
Username: touch
Password:
Login successful.

      EQ/OS 10.3.0c

      Copyright 2014 Fortinet, Inc.

eqcli >
```

CLI から Coyote Equalizer に割り当てる追加 IP アドレスを設定します。

```
eqcli > vlan DEFAULT subnet [インターフェース名] ip [追加 IP アドレス]/[ネットマスク]
```

設定例

```
vlan DEFAULT subnet external02 ip 203.0.113.20/28
```

インターフェース名 追加 IP アドレス ネットマスク

項目	設定内容
インターフェース名	equalizer に設定するインターフェース名となります。 external02、external03... というように追加 IP が増えるごとに番号を繰り上げて設定してください。提供時の標準のネットワーク設定が行われているので external01 は指定しないでください。external01 の設定を変更した場合疎通が取れなくなります。
追加 IP アドレス	機器に割り当てる追加 IP アドレスを設定します。
ネットマスク	追加 IP アドレスのネットマスクを設定します。

続いて追加 IP アドレスのゲートウェイを設定します。

```
eqcli > vlan DEFAULT subnet [インターフェース名] route 0/0 gw [ゲートウェイ]
```

設定例

```
vlan DEFAULT subnet external02 route 0/0 gw 203.0.113.1
```

インターフェース名

ゲートウェイ

項目	設定内容
インターフェース名	equalizer に設定するインターフェース名となります。 external02、external03... というように追加 IP が増えるごとに番号を繰り上げて設定してください。提供時の標準のネットワーク設定が行われているので external01 は指定しないでください。external01 の設定を変更した場合疎通が取れなくなります。
ゲートウェイ	追加 IP アドレスに割り当てられたゲートウェイを設定します。

4. サーバの追加 IP アドレス設定方法

Coyote Equalizer 配下のサーバに対して追加 IP の設定を行います。

設定方法の詳細につきましては、「追加 IP アドレス登録完了通知」に記載の各 OS セットアップ情報をご参照ください。